

交通量調査実施報告

～平成19年からの比較～

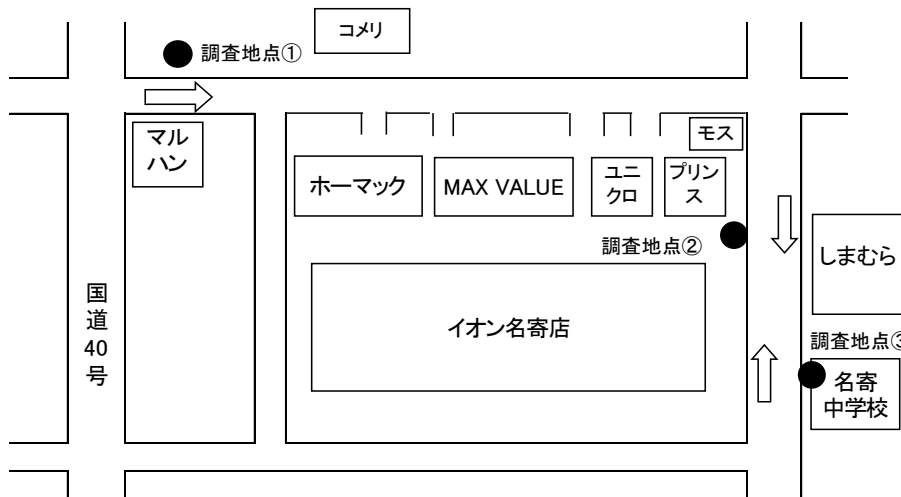
調査日時：令和5年9月29日（金）

令和5年10月1日（日）

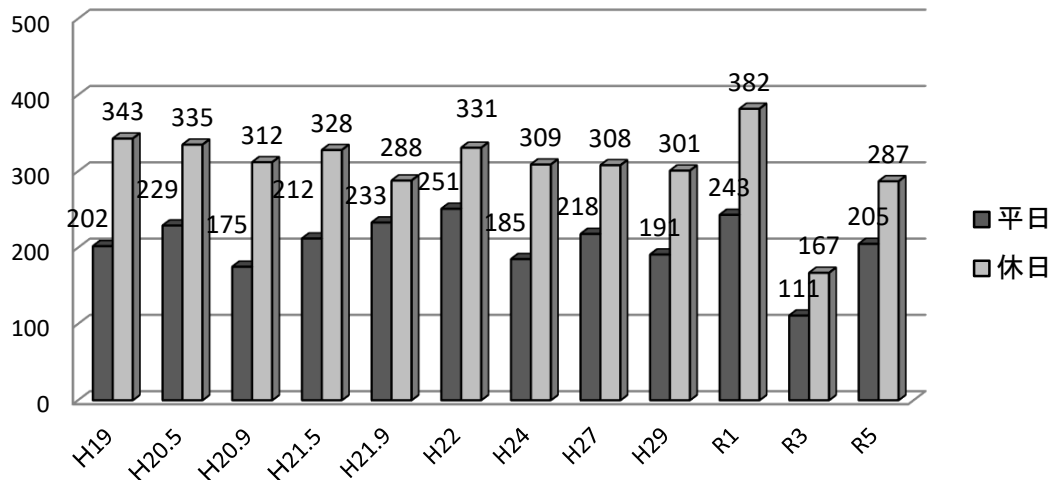
13:00～14:00（1時間）

調査方法：職員による計測

徳田SC付近(①～③)

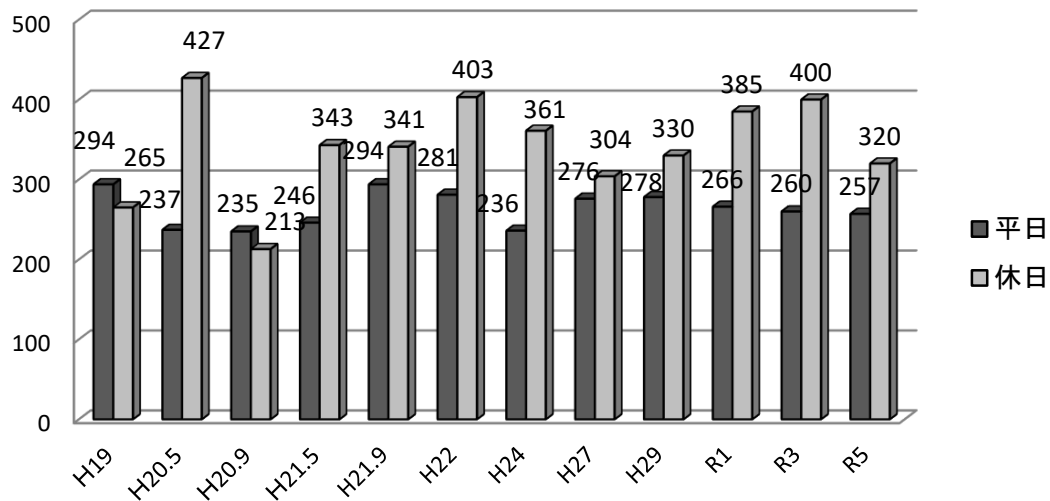


マルハン前(車両)



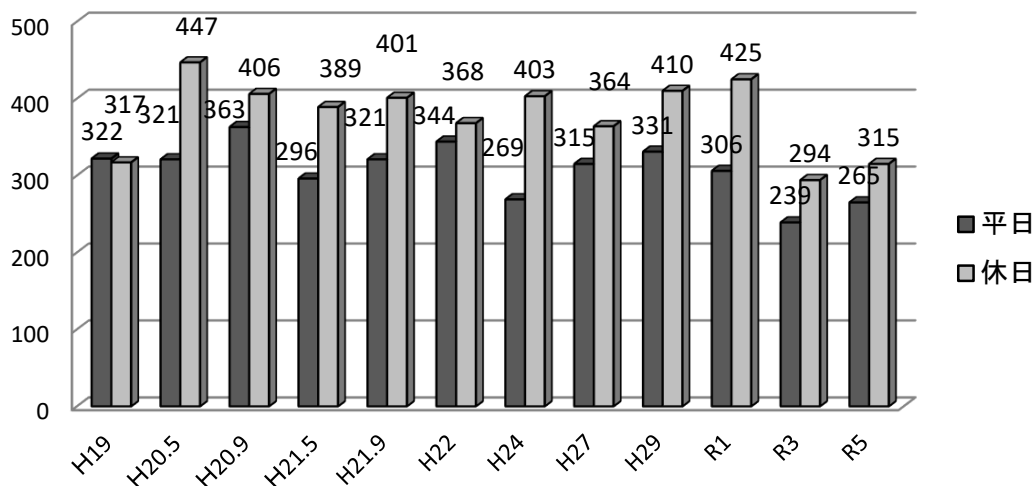
前回調査比で平日で約85%、休日で72%増加。前回調査時は令和2年以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出自粛による下川方面からの流入減少が見られたが、第五類移行後、影響の緩和によりコロナ禍前と同等の交通量が戻りつつあると考えられる。

農業共済前(車輛)



前回調査から大きな変化は見られないが、休日は前回調査比で20%減少。前回調査時は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除直後の調査ということもあり、風連地区や市外(旭川方面)からの流入が多くあったと考えられたが、今年は影響も緩和されコロナ禍前と同等の交通量だと窺える。

名中前(車輛)



前回調査比で平日は約11%、休日で約7%増加。前回調査時と大きな変化は見られないが、例年と比べると平日休日とも市外への流出が減少していることが窺える。